

国家戦略特区ワーキンググループ ヒアリング（議事要旨）

（開催要領）

- 1 日時 平成29年1月16日（月）16:40～16:44
- 2 場所 永田町合同庁舎7階特別会議室
- 3 出席

<WG委員>

- 座長 八田 達夫 アジア成長研究所所長
大阪大学社会経済研究所招聘教授
- 委員 原 英史 株式会社政策工房代表取締役社長
- 委員 本間 正義 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

<関係省庁>

- 大西 啓介 文部科学省文化庁文化財部記念物課長
- 佐藤 正知 文部科学省文化庁文化財部記念物課史跡部門主任文化財調査官

<事務局>

- 坂井 潤子 内閣府地方創生推進事務局参事官補佐

（議事次第）

- 1 開会
- 2 議事 史跡を棄損しない範囲で暫定的に行う建築物の建築解禁
- 3 閉会

○事務局 時間が押して申し訳ありませんでした。

文部科学省に来ていただいております、「史跡を棄損しない範囲で暫定的に行う建築物の建築解禁」という名前になっておりますけれども、大阪府和泉市から「文化財を活用した憩いと賑わい空間の創出」ということでこれまで提案をいただいております。10月と11月に2回来ていただいて、御説明いただいております。

国からの財政支援による解決を検討ということで、前回、御説明に来ていただいておりますけれども、その部分について、具体的に今どういう状況になっているのかとか、プラスもし、やりとりの中ですとか、あるいは文部科学省の検討の中で、具体的にどういうものが課題として出てきているのかとか、和泉市側との今後詰めていく内容とか、今の時点で上がってきているものですか、今後事業計画を見た上で具体的なものを決めていくとかいうこともあろうかと思っておりますので、その辺の検討の状況とかそういったものについて中心に御説明いただくのかなと考えております。

八田座長、よろしく願いいたします。

○八田座長 お忙しいところをいつもお越しくださしまして、ありがとうございます。

それでは、早速、その状況について御説明をお願いいたしたいと思います。

○大西課長 前回のワーキンググループヒアリングにおきまして、今回、和泉市のほうで複合型のサービスエリアを整備することとされている場所については、大規模な環濠とか、あるいは掘立柱建物群など貴重な遺構が存在しているということで、中々御提案の内容そのものを実現することは難しいと考えておりますけれども、どのような整備をしていくかという和泉市の検討に応じて財政的な支援を行ってまいりたいという旨を御説明申し上げました。

それに対しまして、八田座長から、そういうお金の問題ということであれば、和泉市から文化庁に御提案をいただいたらどうかという御示唆があったものと受け止めてございます。

その後、和泉市から文化庁と二者でやりとりをするというところで、何点かワーキンググループにおいて私どもが説明した内容について確認をしたいということがございましたので、それについて、私どもから前回のワーキンググループヒアリングで御説明した内容をお伝えいたしまして、それに対しまして、和泉市から文化庁の回答を踏まえて少々時間を取って内部で今後検討させていただきますという御回答をいただいたところでございます。

また、和泉市のほうでも市の整備委員会を開いているやの情報もいただいているところでございますので、今後、市として遺跡の北半分を南半分と一体のものとしてどのように整備していくかという御検討に応じて、私どもも技術的な助言もしてまいりたいと思っておりますし、財政的なことについても御相談に応じてまいりたいと考えてございます。

現状においては、こういった形でございます。

○八田座長 では、まだ具体的な提案が来ていないということですね。

○大西課長 そうです。

○八田座長 私どもとしては、もし、十分な財政的な措置が得られるなら、それはそれでいいし、それが得られないなら、またもう一遍振り出しに戻って色々と策を考えようかなと思ったところなので、ちょっと和泉市に急いでちょうだいよということですね。

委員の方はよろしいですか。

○原委員 はい、それで。

○八田座長 では、どうもわざわざ御足労いただきまして。

和泉市がちょっと急いで案を出してもらいたいですね。

○大西課長 私どもも親身になって御相談に応じるつもりです。

○八田座長 この間、そのような印象を受けました。あそこは非常に重要なところだから、課長としても支援したいということはよく分かりました。

それでは、よろしく願いいたします。